

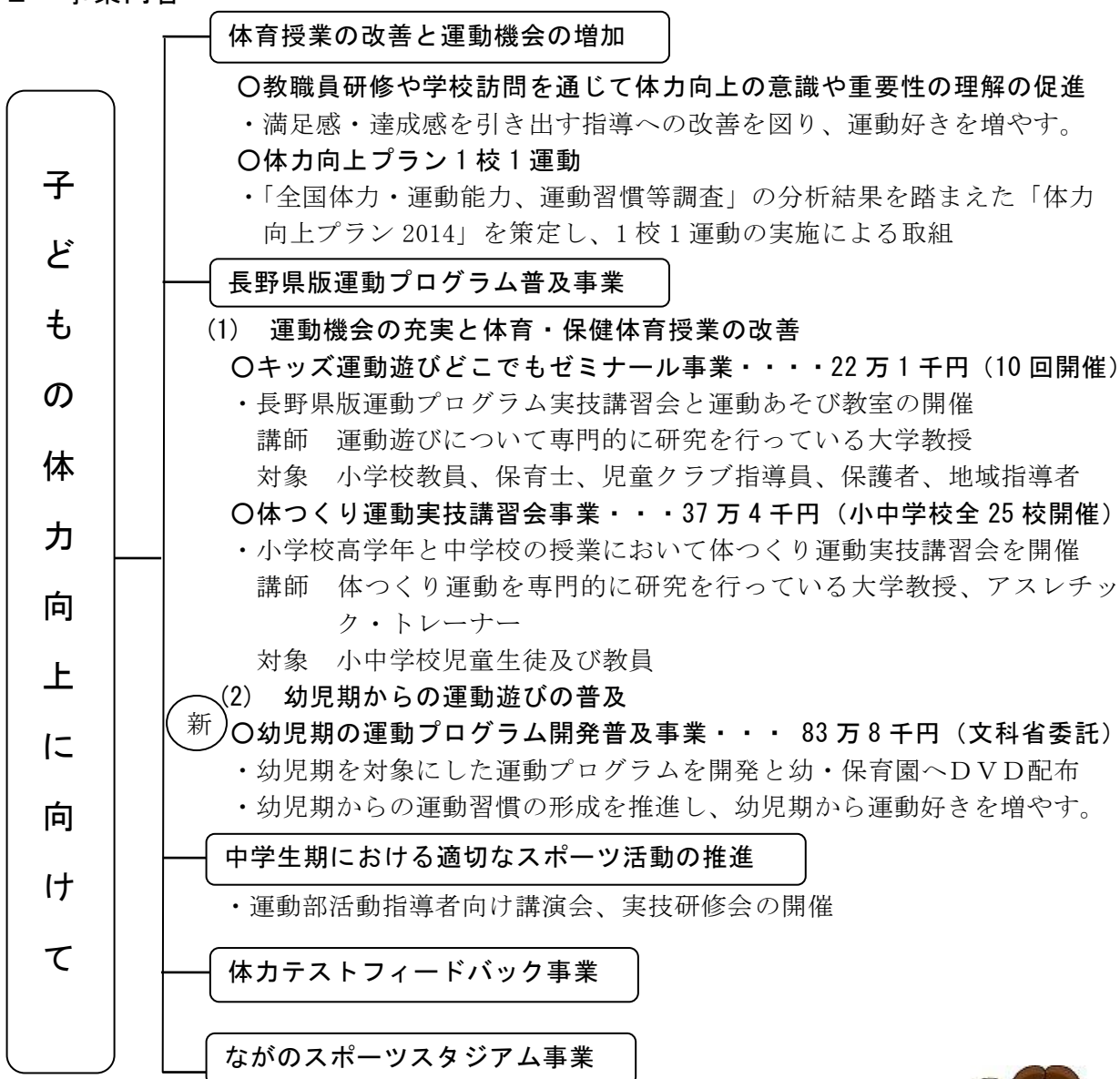
体力向上事業

スポーツ課

1 事業目的

本県の小・中学校の児童生徒の体力・運動能力は、全国平均と比較すると、女子は低い水準にあり、特に、中学生女子においてその傾向は顕著となっているほか、運動する児童生徒としない児童生徒の二極化も進んでいる。また、中学校女子の部活動加入率が全国平均と比較して低く、運動離れの傾向がみられる。そのため、体力・運動能力の向上と運動好きな子どもを増やし、生涯にわたって運動・スポーツに親しむための基礎づくりへの支援をする。

2 事業内容



3 予算額 143万3千円



長野県版「運動プログラム」普及事業

スポーツ課

1 目的

幼児期の「運動遊び」により、子どもたちに体を動かすことの楽しさや喜びを体感することで動ける体づくりと運動の習慣化につなげ、運動好きな子どもを育成する。その結果として体力・運動能力が向上し、5年後の体力合計点全国10位台を達成する。

○幼児期の運動遊びの効果

- ・体力・運動能力の向上
- ・コミュニケーション能力（社会性）の発達
- ・心身の発達（骨格の発達、粘り強さ、集中力の向上）
- ・運動好きな子どもの増加
- ・運動の習慣化
- ・認知的な発達の促進

2 これまでの取組概要

項目		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
学校における取組		—		体力向上プラン 1校1運動	→	
		—		体カテストの実施 と集計システムの活用	→	
長野県版運動プログラム	「運動プログラム」の開発	「小学校低学年の運動遊び」	「小学校中・高学年の体づくり運動」	「全校運動に活用できる運動プログラム」	「長野県中学校版運動プログラム」	普及・啓発
	全県普及事業	DVDの小中学校への配布	→			—
		教員等指導者への出前ゼミナール	—			幼児期からの「運動遊び」普及定着（部局連携）
	モデル市町村事業	—			キッズ運動遊び どこでもゼミナール	→
—			「体づくり運動」 実技講習会	→		

3 事業内容

- ① 幼児期の「運動プログラム」の開発
- ・キッズ運動遊びどこでもゼミナールの開催
- ・小中学校「体づくり運動」実技講習会の開催

4 予算額 143万3千円